

プレスリリース
報道関係者各位

2026年5月26日
三井住友トラストクラブ株式会社
JPYC 株式会社
株式会社 HashPort

～日本のクレジットカードで初！～

カード利用で貯まるポイントをステーブルコインに。

2026年6月1日、ダイナースクラブのポイントを
日本円ステーブルコイン「JPYC」に交換するサービスがスタート。
ノンカストディアルウォレット「HashPort Wallet」を通じた新たな価値提供。

三井住友トラストクラブ株式会社（代表取締役社長：山口 信明）が発行するダイナースクラブカード、TRUST CLUB カードの利用で貯まるリワードポイントを、日本円ステーブルコイン（JPYC）に交換できるサービスがスタートします。

2026年6月1日（月）から、JPYC 株式会社（代表取締役：岡部 典孝）が発行する日本円ステーブルコイン「JPYC」に、株式会社 HashPort（読み：ハッシュポート、代表取締役 CEO：吉田 世博）が提供するノンカストディアルウォレット「HashPort Wallet」上で交換ができるようになります。

クレジットカードの利用で貯まるポイントをステーブルコインに交換できる仕組みは、このたび3社共同で構築した本サービスが日本初となります。

日本の初
クレカで

カード利用で貯めたポイントをJPYCに。

2026.6.1 START
by HashPort Wallet



■ポイント交換のサービス導入について

Web1.0（いわゆるホームページ。ユーザーは情報を閲覧するだけ）、Web2.0（SNS や YouTube のプラットフォームを介してユーザーが双方向に情報のやり取りができる）から、ブロックチェーンなどを使ってユーザーが自律分散的にデータを管理できる Web3 への移行が始まっています。

インターネットの新世代である Web3 の世界で活況を迎えたのが暗号資産、デジタル通貨で、ステーブルコインもその一つです。

クレジットカード、ステーブルコイン、ノンキャストディアルウォレット——それぞれ特徴ある金融関連コンテンツを結び付け、消費者に新たな経済活動の選択肢を提供することを目的として、取り組みを進めました。

貯まったポイントを交換して得られる JPYC は、以下のような用途で活用することができます。

- ・実店舗・EC サイト等オンラインでの支払い
- ・Web3 サービスでの決済・運用
- ・即時、低コストの個人間送金

JPYCへの交換方法

クラブ・オンラインで申し込み、HashPort Walletで受け取り

① クラブ・オンラインで交換申し込み



メニューから「JPYC」を選択



ポイント数とウォレットアドレスを入力して交換を申し込み

➡

② HashPort WalletでJPYCを受け取り



HashPort WalletでJPYCの残高を確認



JPYCは送金・決済などさまざまな用途で利用可能

※本サービスは、ポイント交換額の精算を行わない等の対応を行っており、暗号資産交換業および電子決済手段等取引業には該当しません。

【ポイントバックキャンペーン】

本サービスの開始を記念し、三井住友トラストクラブはリワードポイントを JPYC に交換したお客様にポイントを還元する「ポイントバックキャンペーン」を実施します。

ポイント還元	ダイナースクラブカード	2,500 ポイント→1,000 JPYC の交換につき、500 ポイントを還元
	TRUST CLUB カード	4,000 ポイント→1,000 JPYC の交換につき、500 ポイントを還元
キャンペーン期間	2026 年 6 月 1 日～11 月 30 日	
ポイントバックの時期	2027 年 1 月中旬を予定	

■各社コメント

本サービスの開始にあたり、三井住友トラストクラブ、JPYC、HashPort はそれぞれコメントを発表しました。

【三井住友トラストクラブ】代表取締役社長 山口 信明

安全で信頼性の高い次世代の決済手段として世界が注目するステーブルコインと、クレジットカードのポイントを結びつける——この挑戦への第一歩を当社が踏み出せたことを、心から嬉しく思います。当社のポイントは、お客様と長年培ってきた信頼関係を表象するものとして有効期限を設けておらず、ステーブルコインへの交換サービスはそのポイントに新たな価値を与える仕組みです。将来的には個人での活用にとどまらず、ビジネスの現場での進化に向けて研究を続けていきたいと考えています。

■三井住友トラストクラブについて

三井住友トラストクラブ株式会社は、日本最初の信託会社をルーツとする創業 100 年の伝統を有する専門信託銀行である三井住友信託銀行の子会社として、クレジットカード事業を行っています。現在発行している二つのブランド、ダイナースクラブ（国際ブランド：Diners Club）と TRUST CLUB カード（国際ブランド：Visa / Mastercard）のそれぞれ特性を生かした商品・サービスは、多くのお客様から支持をいただいています。



とくにダイナースクラブカードは当社が日本における唯一の発行会社であり、1960 年に日本で初めてのクレジットカードとして誕生して以来、ステータスの高い独創的なカードとして認知されています。

>詳しくはこちら https://www.sumitclub.jp/ja/corporate_site.html

【JPYC】代表取締役 岡部 典孝

このたび、三井住友トラストクラブ株式会社様のダイナースクラブカード、TRUST CLUB カードのリワードポイント交換先として JPYC をご採用いただき、大変光栄に存じます。ポイントをステーブルコインへと転換する本取り組みは、既存の決済サービスとブロックチェーンを結ぶ重要な一歩であり、資産の流動性と利便性を高めるものです。より多くの方にステーブルコインの利便性をご体験いただき、日常生活からビジネスシーンに至るまで、デジタル決済の選択肢が広がることを期待しております。今後も当社は、信頼性の高いデジタル通貨としての JPYC の普及を通じて、日本の決済インフラの高度化と利便性向上に貢献してまいります。

■JPYC について

ステーブルコインを通じて新しいお金のあり方を提案する企業です。現実世界とデジタル経済の境界をなくし、人と人、組織と組織の間で、資本がより滑らかに、柔軟に流れる仕組みをつくることで、誰もが経済活動の主演となれる環境を実現したいと考えています。



既存の制約にとらわれず、あらゆる人が新しい挑戦を始められる土壌を広げ、個人や企業の創造性を最大限に引き出すこと。それが私たち JPYC の目指す未来です。

>詳しくはこちら <https://corporate.jpvc.co.jp/>

【HashPort】 代表取締役 CEO 吉田 世博

クレジットカードのポイントとステーブルコインの交換という日本におけるデジタル資産普及の重要な一歩を、ノンカストディアルウォレットとして推進できることを大変嬉しく思います。ポイントは、毎年 2.8 兆円以上新規に発行される巨大な資金プールであり、ステーブルコインの社会実装の起爆剤になる可能性を秘めております。

HashPort Wallet は、ダウンロード数が 115 万を超え、JPYC ユーザーの 8 割超（※当社調べ）にご利用いただいている国内 No.1 ノンカストディアルウォレットとして、この領域に注目してまいりました。

HashPort は、今後も国内最大級のノンカストディアルウォレットとして、ステーブルコインと既存金融が接続するゲートウェイの役割を引き続き目指してまいります。

■HashPort について

HashPort は「まだ見ぬ価値を暮らしの中へ」をミッションに、ブロックチェーンの社会実装を支えるソリューションプロバイダーとして事業を展開。国内の多くの金融機関・事業会社・公共機関に対してノンカストディアルウォレットをはじめとするブロックチェーンプロダクトの開発サービスを提供しています。



> [詳しくはこちら](#)

> [HashPort Wallet のダウンロードはこちら](#)

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

<ダイナースクラブ> 三井住友トラストクラブ 広報室 E-mail: contact@sumitclub.jp

<株式会社 JPYC> PR 担当 E-mail: pr_office@jpyc.co.jp

<株式会社 HashPort> PR 担当 E-mail: pr@hashport.io